



事例
8

「避難所宿泊訓練」

～避難所での集団生活を体験～

千歳市梅ヶ丘1丁目町内会

千歳市梅ヶ丘1丁目町内会（107世帯）では、災害時の避難所での集団生活を体験しようと、8月に2日間かけて、46名参加のもと、避難所宿泊訓練を実施しました。

訓練では、小学校の体育館に避難所を開設。参加者が集まると総務部が安否確認を兼ねた受付を行い、避難者名簿を作成しました。その後、災害図上訓練（DIG）を実施し、要援護者の支援や地域の危険箇所などについて話し合いました。続いて、簡易トイレとベッドの組み立ても体験しました。夕食には、女性部の炊き出し訓練で作ったカレーが振る舞われました。その後、一日目の反省会を終え、参加者は、段ボールで仕切られた区画内で宿泊を体験しました。翌朝は、市から提供された非常食を食べ、その後、人形を使った応急処置訓練を行って、2日間の訓練を終えました。



▲段ボールを利用して区画づくり



▲簡易ベッドの組み立て体験

終了後の反省会では、「区画の分け方やゴミ捨てなど、避難生活の細かいルールづくりが必要」「車での避難者が多い場合はどう対応するか」との意見や課題があげられ、住民による避難所運営の大変さを実感した訓練となりました。

